

これまで蓄積してきた公益財産は構成員の間で分配しないで、公益目的事業や不特定多数の者の利益のために使用する事で「公益目的支出計画」を実行することになります。

「不特定多数の者の利益のため」に、各事業は門戸を開放することが求められ、当面「検定事業」「競技事業」での対応確認が必要です。

その結果、会員としてのメリットはどうして得ることが出来るかが、今後の大きな課題と思われまます。有形無形の利益を如何にして求めるか、先般提示された「杉山試案」も次の条件を確認の上、上意下達でなく会員の納得、賛同を得ての方策を進めて頂きたいと思えます。

注意事項

- 一、剰余金の分配はしない
- 二、法人関係者への利益の供与はしない
- 三、会員、特に役員は法令に触れることなきように注意すること

次なる課題は会員対策です。会員高齢化に伴う退会者の増加と入会者の少ないことで会員減少が続いています。私の就任時百九十五名が本年度末では百六十二名にならんとしています。

若年層を重点に意欲ある新人の発掘をお願いします。

検定受験者数は平成十八年度比、静

珠協検定は八十%ですが、全珠連珠算検定、暗算検定は微減で上昇傾向と判断され明るい展望が期待されます。学習希望者の受入体制の整備が急がれます。

社団法人静岡県珠算協会は、昭和十七年九月に創立、昭和二十五年七月に静岡県から「社団法人」を許可されました。

昭和二十八年九月全国珠算教育連盟創立にあたり全面的に協力、遠州珠算振興会会員が静珠協に入会し静岡県が大同団結して一本化し、昭和二十九年一月、全珠連静岡支部を創立、静珠協会員百十六名全員が団体加入致しました。爾来、会計は分けつつも表裏一体の活動を続けて参りました。

新定款では、静珠協に加入と同時に全珠連に加入と決めました。

この経緯をご理解の上静珠協と全珠連の表裏一体を再確認していただき静岡県の珠算の灯を継承すべく改めてご理解をお願い致します。

- 一生の終わりに残るものは
- われわれが
- 集めたものではなくて
- われわれが
- 与えたものである

ジェラルド・シャンドリーの言葉

先日、松家俊夫先生から頂いた「大感謝」という冊子の冒頭の言葉です。

今日から、一日五分でも他者中心の

生活をして、人を喜ばせることをやり続けましょう。そして、この世に生かされていることに感謝しましょう。

「幸せのタネをまくと、幸せの花が咲く。苦しみのタネをまくと、苦しみの花が咲く」

と結ばれていました。

残された人生、この言葉を糧として一日一日を大切に生きて行きたいと思えます。

静珠協の発展と会員皆様のご健勝を祈念してお礼の言葉といたします。有難う御座いました。

一般社団法人 移行認可申請は
六月二十日付で認可されました。

研修部から総務部へ

清水地区 深澤 好 胖

平成十六年三月清水商業を定年になり、少し余裕が出た平成十七年に大島勇当時の清水地区長から次期地区長を何も言わず受けてくれと言われやることにしました。二年間は無事終了したので

すが、次が決まらずもう二年やることになりました。私は地区長のつもりでしたがその年(平成十九年)支部長の改選があり中林支部長より研修部を担当せよとの事で六年間担当する事となりました。

研修部の六年間は、わたし流にやらせていただきましたので、各地区の研修部員の皆さまには何かとご迷惑をおかけすることが多かったのではないかと、この紙面をお借りしてお詫びいたします。

研修部の仕事は、①本部が実施する研究会の取りまとめ②支部が実施する指導者講習会③地区別やブロック別講習会④教材・教具の研究会⑤そろばん静岡の発行⑥静岡県そろばんの日の作文・詩の募集及び選考⑦会員に役立つ指導法などの研究等を行っています。

その他、人材育成養成講座の人選や新入会員研修会の実施など多岐に渡っています。私自身よくわからずお受けしたので、戸惑うことが多々ありました。

このような私が、形式的には立候補ではありませんでしたが、他の人の勧めもあり代議員に推され、この度総務を任せられることになりました。六年間研修を担当しましたが、総務のことは何もわかりません。今まで以上に皆様にご迷惑をおかけすることと思います。これまで以上のご指導、ご協力を頂き忌憚のないご意見をお寄せください。その